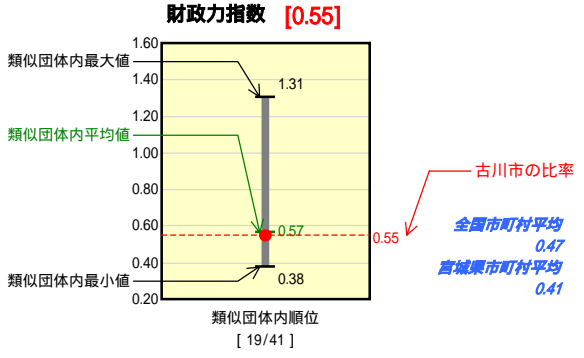


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

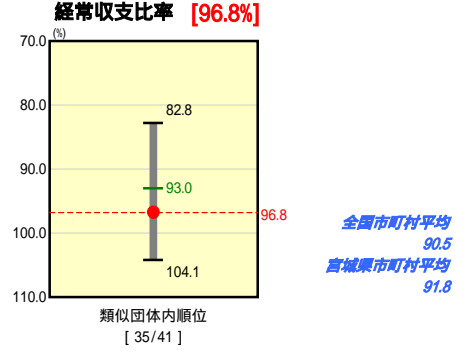
宮城県 古川市

| | |
|------|------------------------|
| 人口 | 73,726人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 134.14 km ² |
| 歳入総額 | 25,504,679千円 |
| 歳出総額 | 24,990,403千円 |
| 実質収支 | 366,123千円 |

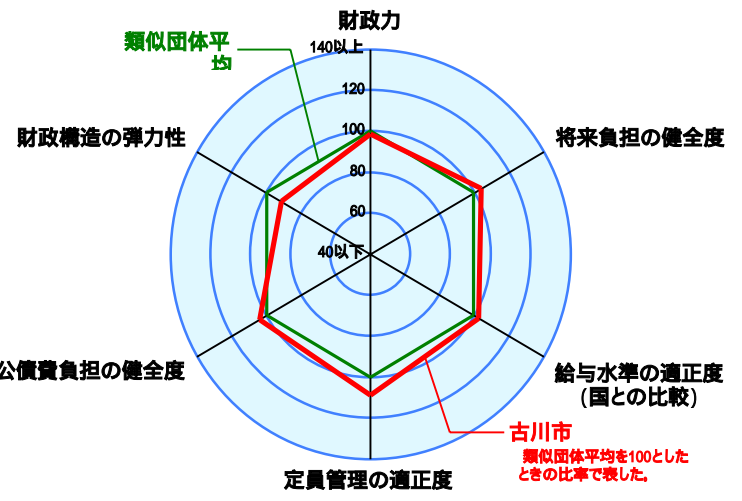
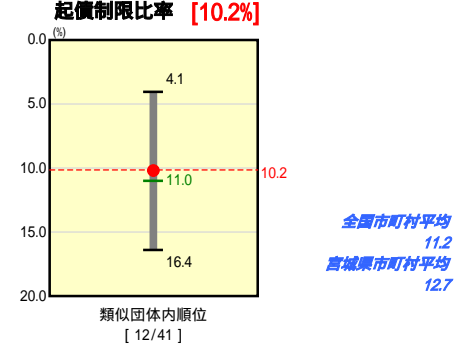
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

財政力指数
 ・退職者補充の抑制や投資的経費の圧縮など歳出の削減を図ってきたことから、財政力指数は微増傾向にある。

経常収支比率
 ・ゴミ焼却施設の公債費の償還金発生により一部事務組合負担金が増加したことや、給付費の増加に伴い介護保険や国民健康保険などの特別会計への繰出金が増加したことなどにより、前年度と比較して6.6%と大幅に増加している。平成18年3月31日には1市6町での合併が控えており、将来的には職員数の減による人件費等の削減が期待できるなど、長期的には経常収支比率が低下していくよう努める。

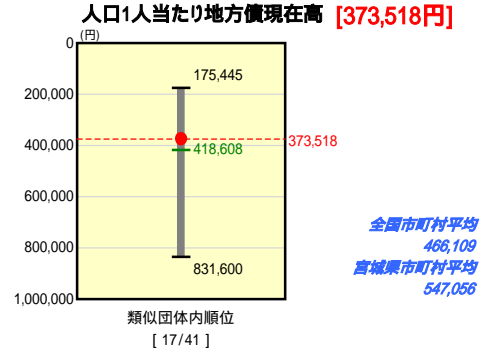
ラスパイレス指数
 ・定数内特昇の未実施等により、ここ数年指数は減少傾向にある。今後は高年齢層の昇給、特殊勤務手当の運用等給与と制度の見直しを図り、より一層の適正化に努める。

起債制限比率
 ・地方債発行額の抑制等により、比率は減少傾向にある。

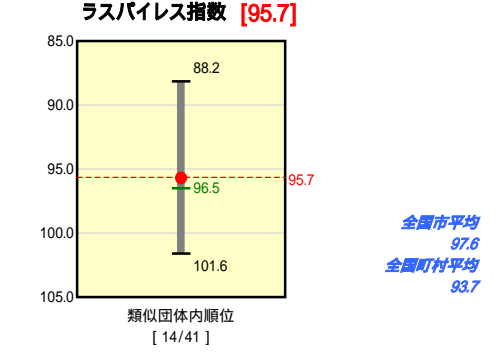
人口1人当たり地方債
 ・平成13年度に策定した財政健全化推進計画に基づき、計画事業の廃止、縮小などを行ってきたことなどから、類似団体平均を下回っている。今後、合併特別事業等により地方債現在高が上昇することが予想されるため、引き続き現在高を考慮しながら発行を行っていく。

人口1,000人当たり職員数
 ・財政健全化推進計画に基づき、職員数の削減に努めてきたことなどから、類似団体平均を下回っている。(10年間で70人の削減目標、H16までの4年間で48人減員、達成率69%) 今後は定員適正化計画を策定するとともに、業務の見直し、民間委託等を視野に入れ、時代の流れにあった柔軟な定員管理に努める。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

